

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料 (原子炉格納施設)	—	SGT吸込口位置の変更について説明すること。	2022/4/27 説明予定	SGT吸込口位置の変更について説明した資料NS2-補-011改04「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6を2022/2/21の第97回設工認ヒアリングにて説明済みです。	NS2-補-011改04「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6	
2	2022/1/20	NS2-他-027	適正化リスト	島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子 炉格納施設)	—	適正化理由が分かるように記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	適正化理由を追加した資料NS2-他-027改01「島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)」を2022/2/3の第77回設工認ヒアリングにて説明済みです。	NS2-他-027改01「島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)」	
3	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.86	シルトフェンス予備の設置場所の記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	シルトフェンスの保有量及び予備の保管について記載を適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.49 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.88	
4	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.13	負圧破損防止に関する相違理由について、記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	相違理由について、事象発生後7日間は負圧にならないことを確認している旨追記し、適正化しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.1,13	
5	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.9	2.1設計基準事故時における基本方針について、記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	文意として、残留熱除去系(格納容器冷却モード)に係る記載は不要であることから、当該部分の記載を削除し、適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.1 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.9	
6	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.30	ドライウェル及びサブプレッションチェンバの外面に受ける最高の圧力に関する記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	ドライウェル及びサブプレッションチェンバの外面に受ける最高の圧力の根拠について、記載を適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.30	
7	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.32	衝撃試験の合格基準について、記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	最小値については、3個の試験片が全て表中の値以上であるものを合格とする内容の注記を追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.12 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.33	
8	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.39	バウンダリを示した図について、記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	検討の結果、図4-31について、原子炉格納容器内にて、合流又は分岐した後に原子炉圧力容器に接続しているラインを追加し、また、系統名称等を適正化しました。なお、記載するラインを追加したことにより、図を新たに追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書」P.18～25 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)」P.39～42	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
9	2022/1/20	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.97	「設計・建設規格」の記載について検討すること。	2022/4/27 説明予定	正式名称として、「発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSM E S NC1-2005/2007)」に適正化しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.55 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.99	
10	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書	P.8	設計基準事故時のサブプレッションチェンバの水量に加えて、水位の記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	設計基準事故時の原子炉格納容器の評価水位について追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.10 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.30	
11	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書	P.14	「冷却材喪失時」の記載について検討すること。	2022/4/27 説明予定	「冷却材喪失」と「冷却材喪失事故」が混在していたため、「冷却材喪失事故」に統一しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.1.2,15,32,49,50 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.9,10,36,37,49,88,89	
12	2022/1/20	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書	P.33	蒸気凝縮振動荷重の値について、妥当性を説明すること。	2022/4/27 説明予定	島根2号機のサブプレッションチェンバに加わる蒸気凝縮振動荷重については、建設当時の評価基準に基づき設定しています。具体的には、Mark-I型格納容器を模擬した試験(米国FSTF試験)の蒸気凝縮振動時の圧力・構造応答を模擬するような荷重条件を設定し、実機の解析モデルに入力することで、サブプレッションチェンバの壁面圧力や構造応答を評価し、算出しています。 なお、上記評価手法についてはMark-I型で共通ですが、蒸気凝縮振動荷重の値については、ベント系やトラスの形状の違いによって差異が生じているものと考えられます。(NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.36参照)	-	
13	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.31	逃がし安全弁の作動後のプール水温の記載について検討すること。	2022/4/27 説明予定	逃がし安全弁作動時(開直後):58℃、逃がし安全弁作動後(原子炉圧力容器破損直前):83℃が、それぞれ分かるように記載しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.31	
14	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.32,35	表のタイトルについて、記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	逃がし安全弁作動時(開直後)又は逃がし安全弁作動後(原子炉圧力容器破損直前)が分かるように表のタイトルを変更しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.32,35	
15	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.36	図3-7の矢印の記載について検討すること。	2022/4/27 説明予定	図3-7の矢印について、蒸気が減少していく過程を表していることを考慮し、適正化しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.36	
16	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.50	格納容器ベント時の動荷重の記載について検討すること。	2022/4/27 説明予定	格納容器ベント時の減圧沸騰及び減圧波による影響においては、設計基準事故時には格納容器ベントを行わないため、サブプレッションチェンバの急速減圧に伴う減圧沸騰及び減圧波が発生せず、他の動荷重のように比較対象がないことから、現状の記載とさせていただきます。 (NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.40~51参照)	-	
17	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.14	表2-3の代表の選定理由について記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	代表で動荷重に関する検討を行うものについて、選定理由を追記しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.10	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
18	2022/1/20	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料 (原子炉格納施設)	P.20	図2-6のクエンチャ形状が海外プラントと比較 できる図について検討すること。	2022/4/27 説明予定	図2-6について、クエンチャの全体形状が分かる図に変更しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明 資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.20	
19	2022/1/20	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.80	格納容器下部冷却に使用する格納容器代替ス プレイ系(可搬型)について記載を検討すること。	2022/4/27 説明予定	格納容器代替スプレイ系(可搬型)の記載を追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施 設的设计条件に関する説明書」P.47 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの 記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設 的设计条件に関する説明書)」P.81	
20	2022/1/27	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.90	注記*12について、内圧が小さく無視できる理由 を説明すること。	2022/4/27 説明予定	冷却材喪失事故後10 ¹ 年程度以降の最大内圧が通常運転圧力よりも小さいことを追記し ました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施 設的设计条件に関する説明書」P.52 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの 記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設 的设计条件に関する説明書)」P.92	
21	2022/1/27	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.88	荷重の種類について、先行審査プラントとの相 違理由の記載を検討して説明すること。	2022/4/27 説明予定	先行審査プラントとの相違理由の記載内容について適正化しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの 記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設 的设计条件に関する説明書)」P.90	
22	2022/1/27	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.89	表5-1について、適用規格の相違により記載 が変わる理由を説明すること。	2022/4/27 説明予定	適用規格の相違から、コンクリート製格納容器に適用される荷重状態は記載していないこ とを明記しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの 記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設 的设计条件に関する説明書)」P.91	
23	2022/1/27	NS2-補-011	補足説明資料	工事計画に係る説明資料 (原子炉格納施設)	P.67	表2 No.6の備考について記載を検討して説明す ること。	2022/4/27 説明予定	No.6及びV(S)-1は、荷重の組み合わせが、死荷重+圧力+CHであることが同じとして、 No.6の備考に「V(S)-1の組合せと同様」と記載しております。つまり、圧力の違いについて は、組合せの違いとして扱わないものになります。 (NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.67 参照)	-	
24	2022/1/27	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.97	繰り返し荷重に対する解析について、先行他社 との規格の相違について説明すること。	2022/4/27 説明予定	告示第501号及び設計・建設規格の両方を適用している先行他社については、強度計 算書にて告示第501号、耐震計算書にて設計・建設規格と、両方の規格を適用してあり ます。一方、島根2号機の原子炉格納容器については、強度計算書及び耐震計算書とも に、設計・建設規格による評価としているため、繰り返し荷重に対する解析においては、 設計・建設規格による評価のみを記載しております。 なお、繰り返し荷重に対する解析について、告示第501号と設計・建設規格に基本的な 差はなく、告示第501号を適用した場合でも、疲れ解析(疲労解析)を必要としない結論と なることを確認しております。 (NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.55~57 参照)	-	
25	2022/1/27	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.101	許容引張応力Sから許容繰り返し回数Nの算出 過程を補足説明資料にて説明すること。	2022/4/27 説明予定	補足説明資料に、参考資料6として、許容繰り返し回数Nの算出過程を追加しました。	NS2-補-011改09「工事計画に係る補足説明 資料(原子炉格納施設)」資料No.1のP.72	
26	2022/1/27	NS2-添1- 064(比)	比較表(VI-1- 8-1)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1 原子炉格 納施設的设计条件に関する 説明書)	P.106	図6-1について、ベント管ペローズの位置を説 明すること。	2022/4/27 説明予定	図6-1にて、ベント管ペローズの位置を指示しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施 設的设计条件に関する説明書」P.59 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの 記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設 的设计条件に関する説明書)」P.108	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
27	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.107	表6-1について、電気配線貫通部のスリーブが配管貫通部に含まれていることが分かるよう記載を検討して説明すること。	2022/4/27 説明予定	表6-1, 2, 3について、電気配線貫通部のスリーブは、配管貫通部のスリーブを含めて評価している旨を追記しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.60,63,68 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.109,112,117	
28	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.108	図6-2について、評価方法(b)として設計・建設規格を準用し評価できる理由を説明すること。	2022/4/27 説明予定	設計・建設規格は、原子力発電所の設計／製作に適用することを目的に策定したものであり、技術基準規則解釈でも引用されています。また、先行プラントの新規制基準審査等でも審査実績があり、他の規格に比べ、構造力学理論を精緻に反映したものであるとともに、原子力設備の製作、検査、施工に基づく内容が反映されていることから、設計・建設規格を準用することに問題ないと考えます。 なお、準用とは、設計・建設規格に記載されている必要厚さを求める式を変形し、許容圧力を求める式として使用するという意味で用いており、内容を変更するものではありません。 (NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.61参照)	-	
29	2022/1/27	NS2-添1-064	施設共通説明書(VI-1-8-1)	VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書	P.28	真空破壊装置について、サブプレッションチェンバ全体に対する取り付け位置を説明すること。	2022/4/27 説明予定	真空破壊装置の設置位置を図4-5として追加しました。	NS2-添1-064改01「VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書」P.30,31 NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.48	
30	2022/1/27	NS2-添1-064(比)	比較表(VI-1-8-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)	P.101	負荷運転時における圧力変動の全振幅の算出過程について補足説明資料にて説明すること。	2022/4/27 説明予定	比較表の備考欄に算出過程を追加しました。	NS2-添1-064(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設的设计条件に関する説明書)」P.103	
31	2022/2/3	全般	-	-	-	評価において、告示501号ではなく、設計・建設規格を使用することの妥当性を説明すること。	今回回答	原子炉格納容器の評価において、設計・建設規格を用いることの方を補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.78(通し頁P.82)	
32	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.9	ベントヘッド等個別の計算書において強度計算結果を示しているものについて、強度計算結果の記載箇所を説明すること。	今回回答	ベントヘッド及びダウンカマは個別の計算書に記載している旨、比較表の備考欄に追記しました。	NS2-添1-065改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.13	
33	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.18	図4-1について応力評価点P-8の位置が分かるよう記載を検討すること。	今回回答	図4-1について、応力評価点P8が分かるよう、詳細図を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)」P.9(通し頁P.13)	
34	2022/2/3	NS2-補-011改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	ひずみ率の平均値で評価している理由を説明すること。	今回回答	最新のJISK 6262の2013年版では記載されていませんが、2006年版においては、3個の試験片によって得られた平均値を用いて評価と記載されています。本資料に用いている圧縮永久ひずみ率は、2012年12月頃に開始したPCVシール材に関する研究の一環で実施した試験結果を基に設定しています。このため、2012年12月時点で最新版であったJISK 6262の2006年版を適用していることから、平均値により算出した圧縮永久ひずみ率を用いて評価しています。	-	
35	2022/2/3	NS2-補-011改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	「その他の分析位置」が示す位置を説明すること。	今回回答	その他の分析位置はシート面であることから、シート面を追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.22(通し頁P.26)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
36	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.20	図4-1でヒンジボルトの位置を説明すること。	今回回答	図4-1について、ヒンジボルトの位置が分かるよう図示しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.17(通し頁P.21)	
37	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	全般	シール性能の評価で使用しているシール材の材質を説明すること。	今回回答	改良EPDM製シール材によるシール性能の評価を実施していることから、改良EPDM製シール材であることを追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.13,17,36,46(通し頁P.17,21,40,50)	
38	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.23	径方向変位の開口量に対する影響を説明すること。	今回回答	径方向変位差によるシール性能への影響について、記載を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.17,19~23(通し頁P.21,23~27)	
39	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.24	図4-4について開口量の最大値を説明すること。	今回回答	図4-4、図4-5について、開口量の最大値を図示しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.20,21(通し頁P.24,25)	
40	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.29	所員用エアロックのうち円筒胴の評価について、内側と外側の評価結果を説明すること。	今回回答	円筒胴の板厚が最も薄くなる原子炉格納容器外側の部分についてのみ評価を実施していましたが、先行プラントの状況も鑑み、原子炉格納容器内側の円筒胴の部分についても評価を追記することとしました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.25~27(通し頁P.29~31)	
41	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.44	配管貫通部の代表評価としてX-244を選定している理由を説明すること。	今回回答	配管貫通部の評価について、代表を選定していることが確認できる資料を補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.82~84(通し頁P.86~88)	
42	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.59	「アレニウス式による活性化エネルギーを用いた換算評価」の算出過程を説明すること。	今回回答	アレニウス式による活性化エネルギーを用いた換算評価の算出過程を補足説明資料に追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.85(通し頁P.89)	
43	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.80	表2-1について残留ひずみの有無を説明すること。	今回回答	表2-1について、残留ひずみの有無を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」別紙2P.3(通し頁P.84)	
44	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.40	図7-2について各構成部品の位置を説明すること。	今回回答	図7-2について、どの部分をモデル化しているか分かるように制御棒駆動機構搬出ハッチ概要図を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」P.38(通し頁P.42)	
45	2022/2/3	NS2-添1-065	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添1)	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.49	必要有効断面積と総有効断面積の算出過程を説明すること。その他、評価式を記載していないものについては算出過程を説明すること。	今回回答	ボルト及びフランジの評価について、補足説明資料に算出過程を追記しました。	NS2-補-011改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.2のP.86~92(通し頁P.90~96)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
46	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.106	試験概要図において一次シールド及び二次シールドの位置を説明すること。	今回回答	図9-3の試験概要図について、一次シールド部及び二次シールド部を追記しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.59(通し頁P.63)	
47	2022/2/3	NS2-添1-065(比)	比較表(VI-1-8-1-別添1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.105	「一次シールド部」の記載について記載の統一を検討すること。	今回回答	図9-1、図9-2及び表9-3について、記載を一次シールド部及び二次シールド部に統一しました。	NS2-添1-065改01「VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について」JP.55,56,59(通し頁P.59,60,63)	
48	2022/2/17	NS2-補-011改03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.24	図6についてコリウムシールドとコンクリートトラップの位置を説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドとコンクリートトラップの位置関係が分かるよう図を修正しました。	NS2-補-011 改07「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.3のP.別紙3-5(通し頁P.25)	
49	2022/2/17	NS2-他-027改02	その他(適正化)	島根原子力発電所第2号機工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)	P.7	「スリット部が非常に狭隘であること」と「水が存在しないこと」が保守的となることが分かるよう記載を検討すること。	2022/4/14	水が存在しないことが保守的な評価となる旨、記載を追記しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.10	
50	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.9	「3.コリウムシールド構造」について、コリウムシールドの厚さを説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドの厚さについて記載を追記しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.6	
51	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.9	コリウムシールドの構造について、溶融炉心に対する考慮事項の先行審査プラントとの違いについて、備考欄の記載を検討すること。	2022/4/14	先行審査プラントとの溶融炉心に対する考慮事項の違いについて、備考欄の記載を修正しました。	NS2-添1-066 改01(比)「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.9	
52	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.10	床面積に対する設計要求事項について、「溶融炉心拡がり面積の減少」と「全面を覆う構造」の関係を説明すること。	2022/4/14	島根2号機のコリウムシールドは床面全体を覆う構造であり、溶融炉心の堆積高さ等の算出に必要な床面積は減少しないため、コリウムシールドの設置状況がわかるよう、記載を修正しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.7	
53	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.103	コリウムシールドの製造公差について、コリウムシールド単体での厚さに対する製造公差ではなく、全体の厚さに対する製造公差で管理している理由を説明すること。	2022/4/14	コリウムシールドの耐熱材はサンブ防護材と犠牲材の二層構造であり、これらをZrO ₂ を主成分とする目地材で隙間なく接着することにより、耐熱層として一体となって機能を発揮します。耐熱材の単品厚さは工場で測定し、製造公差内に入っていることを確認しているため、全体の厚さを管理する場合であっても、耐熱材が極端に薄くなったり、目地材が必要以上に厚くなったりすることがないことから、島根2号機のコリウムシールドの厚さは、目地材等を含む全体の厚さに対する製造公差で管理する方針としています。	-	
54	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.12	カバープレートについて、名称の統一を検討すること。	2022/4/14	ライニングプレートで名称を統一しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.13	
55	2022/2/17	NS2-添1-066(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.7,8	図3-1と図3-2の関係について説明すること。また、図3-2についてスリット部の構造およびスリット高さを説明すること。	2022/4/14	図3-1と図3-2の関係を記載し、スリット部の構造が分かる図3-3を新たに追加しました。	NS2-添1-066 改01「VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計」JP.7,8	
56	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.4	建物の負圧維持を確認する圧力計の配置及び負圧値について説明すること。	2022/3/10	差圧計については図1へ追記しました。また、原子炉建物原子炉棟内の差圧値については、1.及び3.に反映しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.1,2(通し頁P.4,5)	
57	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	トラス室からの吸込みがトラス室上部ハッチになったことによる悪影響等を説明すること。	2022/3/10	トラス室からの排気ダクト流路面積と、トラス室上部ハッチの開口面積を比較し、負圧機能へ影響を及ぼさないことを追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.3(通し頁P.6)	
58	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.7	1階から燃料取替まで吹き抜けがあることを説明すること。	2022/3/10	図5に、原子炉建物原子炉棟の地上階が大物搬入口を介して吹き抜け構造であることを図示しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.5(通し頁P.8)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
59	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.5	吸込口に異物混入防止の網があることを説明すること。	2022/3/10	図2の外観写真を拡大し、異物混入防止の網があることを追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.2(通し頁P.5)	
60	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.6	負圧に達する時間について、吸込口の位置変更による影響の有無を説明すること。	2022/3/10	非常用ガス処理系による負圧達成時間について、机上評価と実機データとの比較結果を追記しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.6のP.3(通し頁P.6)	
61	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	図7-1について詳細に説明すること。	2022/3/10	対策前の図を追加するなど図のレイアウトを変更し、図全体を拡大しました。なお、図7-1は図の追加により、図7-2に図番を変更しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
62	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	原子炉ウエル側のみ溶接で閉止することについて説明すること。	2022/3/10	図7-2において、原子炉ウエル側の吸込口を閉止(溶接構造)としました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
63	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	V216-512の下流側について説明すること。	2022/3/10	図7-2において、V216-512をドレン弁(V216-512)とし、接続先として原子炉建物機器ドレンサンプタンクを記載しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.30(通し頁P.13)	
64	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	表7-1の原子炉ウエル排気ラインの排気風量について、改造前の値であることを説明すること。	2022/3/10	説明内容をより明確化するため、下線部を追記しました。 <修正後> 原子炉ウエル排気ラインの排気風量は、原子炉建物原子炉棟全体及び4階の排気風量に対し、ごく僅かであり、当該ラインを閉止したことにより、原子炉ウエル排気ラインの排気風量が0m ³ /h(成り行き)から完全に0m ³ /hになったとしても空調バランスへの影響はほとんど無いと考えられる また、表題を適正化しました。 (旧)表7-1 各設備の排気風量 (新)表7-1 各設備の排気風量(原子炉ウエル排気ライン閉止前)	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.31(通し頁P.14)	
65	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.39	原子炉ウエルシールドプラグの隙間について説明すること。	2022/3/10	構造を説明するため、図7-1 原子炉ウエルシールドプラグの構造を追加しました。	NS2-補-011改06「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.29(通し頁P.12)	
66	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.3	適正化箇所No.9について、設備変更ではないことを説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.9,13,18に、記載方針の相違であり、設備仕様に変更はない旨を追記しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.10,11	
67	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	適正化箇所No.17の誤記について詳細に説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.17に、表4-1の誤記に関する詳細理由を追加しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.11	
68	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.20	可燃性ガス濃度制御系の起動時間について説明すること。	2022/4/14	可燃性ガス濃度制御系の起動までの時間を追記しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2のP.9(通し頁P.11)	
69	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.63	漏えい想定箇所のサプレッションチェンバークセスハッチについて、設置場所を説明すること。	2022/4/14	設置階が地下1階であることを明記しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2別添1のP.18(通し頁P.41)	
70	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.45	表2-2について、先行審査プラントに比べ水素発生量が少ないことを説明すること。	2022/4/14	水素発生量の違いは、備考欄に記載のとおり、燃料装荷量の違いによります。なお、プラント毎にタービン効率の相違等があることから完全一致はしませんが、燃料装荷量と電気出力についてはほぼ比例関係となります。	-	
71	2022/2/21	NS2-他-054	回答整理表	島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)	P.4	適正化箇所No.16の図2-5のスケール変更について詳細に説明すること。	2022/4/14	工認記載適正化箇所No.16に、図2-5のスケールの標準化に関する詳細を追加しました。	NS2-他-054改02「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)」P.11	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
72	2022/2/21	NS2-添1-068(比)	比較表(VI-1-8-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書)	P.103	温度計を設置するPAR2台について、選定の考え方を説明すること。	2022/4/14	静的触媒式水素処理装置入口温度及び静的触媒式水素処理装置出口温度を設置するPARを2個とした理由が分かるよう記載を見直しました。	NS2-添1-068改01「VI-1-8-2 原子炉格納施設の酸素濃度低減性能に関する説明書」VI-1-8-2-別添1 別紙4のP.4(通し頁P.77)	
73	2022/2/21	NS2-補-011改04	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	局所エリアについて、なぜSRV補修室のみ重力ダンパが設置されているのか、目的、構造等(作動値含む)を含めて説明すること。	2022/4/14	補足説明資料に、重力ダンパの設置目的、構造を追加しました。	NS2-補-011改07「工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)」資料No.7のP.12,13(通し頁P.44,45)	
74	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.26	「連絡管」と「連結管」について、記載の統一を検討すること。	今回回答	「連絡管」に統一しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.5,9(通し頁P.8,12) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.10,21 NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足17-4.5,10.15~18.21(通し頁P.223,224,229,234~237,240)	
75	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.54	備考欄の電源設備の記載について検討すること。	今回回答	可搬型代替交流電源設備に関する相違理由を記載していましたが、当該部に可搬型代替交流電源設備の記載はないため、可搬型代替交流電源設備に関する相違理由を削除しました。	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,54	
76	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.19	流量制限オフィスの位置を示すこと。	今回回答	図2-1について、流量制限オフィスの凡例を追加しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.11(通し頁P.14) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.24	
77	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.31	図2-6の凡例について検討すること。	今回回答	図2-6について、図中にベンチュリノズル及び閉止フランジを矢視しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.18(通し頁P.21) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.31	
78	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.38	表2-4のベンチュリノズル及び金属フィルタの個数について、各容器の個数を説明すること。	今回回答	表2-4(2)ベンチュリノズル及び(3)金属フィルタの個数について、容器1個あたりの個数を追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.23(通し頁P.26) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.38	
79	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.59	スクラバ容器温度の測定の考え方について説明すること。	今回回答	スクラバ容器温度を測定することで、間接的にスクラビング水の温度上昇傾向を監視できることを追記しました。	NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足7-2(通し頁P.139)	
80	2022/3/3	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.208	最高使用温度に対して温度上昇率を考慮した場合でも、CsOHの融点より低いことを説明すること。	今回回答	金属フィルタの最高使用温度に温度上昇量を加味しても、エアロゾルの再浮遊が起こるような温度(CsOHの融点)に対し十分低くなることを追記しました。	NS2-補-011 改10「工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)」資料No.4のP.補足22-5(通し頁P.307)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
81	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.83	表3-5について、試験条件と主要な因子の関係を整理して説明すること。	今回回答 表3-5について、試験条件のうち「よう素の除去効率に影響を与える主要な因子」とそれ以外が分かるように注記により識別しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.67(通し頁P.70) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.87		
82	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.130	表4-4の試験圧力の記載について検討すること。	今回回答 表4-4について、試験圧力の範囲が明確となるよう記載を見直しました。また、試験圧力の範囲の明確化に伴い試験目的方法欄記載の加圧範囲の記載を削除しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.90(通し頁P.93) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.130		
83	2022/3/3	NS2-添1-067(比)	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.59	図2-35について、スクラビング水の水位の下限値の記載を検討すること。	今回回答 図2-35に下限水位を追記しました。また、上限水位について、上限水位であることが分かる記載に見直しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」P.41(通し頁P.44) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.59		
84	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.192	ベンチュリノズル部について、スクラビング水位との位置関係を説明すること。	今回回答 図2にスクラビング水位を追記しました。また、ベント実施中の水位挙動に関する注記を追加しました。	NS2-補-011改10工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)資料No.4のP.補足20-34(通し頁P.290)		
85	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.172,173	分岐管の解析に使用しているシェルモデルとビームモデルのモデル化範囲の違いについて説明すること。	今回回答 シェルモデルについて、閉止フランジ付根部をモデル化していない理由を追記しました。	NS2-補-011改10工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)資料No.4のP.補足20-37(通し頁P.293)		
86	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.132	「系統待機時」の記載について、先行審査プラントとの相違を説明すること。	今回回答 「系統待機時」の記載について、先行審査プラントとの相違として波線(記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし))を追記しました。	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.132		
87	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.154	スクラバ容器のマンホールの目的及び運用について説明すること。	今回回答 第1ベントフィルタスクラバ容器のマンホールの目的及び点検時の運用について相違理由を追記しました。(相違No.⑫)	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,154		
88	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.155	流量制限オリフィス以降の最高使用圧力の設定について、補足して説明すること。	今回回答 先行審査プラントとの相違理由について、スクラビング水他と銀ゼオライトフィルタを別容器で構成していることにより、流量制限オリフィスの上流側と下流側で異なる最高使用圧力を設定していることが分かる記載を見直しました。(相違No.⑬)	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,155		
89	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.137	下向き枝管について、水封される理由を説明すること。	今回回答 下向き枝管は、凝縮水により水封される旨を追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙1のP.7(通し頁P.102) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.137		

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
90	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.159	可搬式窒素供給装置の容量の設定の考え方について、補足して説明すること。	今回回答	可搬式窒素供給装置の容量設定について、考慮事項と容量の関係が明確となるよう記載を見直しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙1のP.26(通し頁P.121) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.159	
91	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.187	スクラビング水の水位評価において、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を考慮している理由を説明すること。	今回回答	スクラビング水の水位評価において、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を保守的に考慮している旨を相違理由に追記しました。(相違No.⑪)	NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.1,187	
92	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.191	管理値(水位低)を修正して説明すること。	今回回答	管理値(水位低)の値を訂正しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙4のP.3(通し頁P.141) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.191	
93	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.144	図1-6の弁の開閉状態の表示を修正して説明すること。	今回回答	図1-6について、弁の状態表示をベント実施時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追加しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙1のP.11(通し頁P.106) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.144	
94	2022/3/15	NS2-補-011改05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.85	図3の系統構成を修正して説明すること。	今回回答	図3について、弁の状態表示を原子炉格納容器圧力降下操作中に隔離信号が発生した際の状態に修正しました。	NS2-補-011改05工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)資料No.4のP.補足11-16(通し頁P.183)	
95	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.256	被ばく評価上で最大となるベント実施時の作業について、対象の作業が分かるよう記載を検討すること。	今回回答	被ばく評価上で最大となるベント実施時の作業について、対象の作業が第2弁開操作であることが分かるよう追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙6のP.4(通し頁P.167) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.240	
96	2022/3/15	NS2-添1-067(比)	比較表(VI-1-8-1-別添3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.250	第2弁開操作時と第1弁開操作時の被ばく評価結果の違いを説明すること。	今回回答	第2弁開操作時と第1弁開操作時の被ばく評価結果の違いについて、考察を追記しました。	NS2-添1-067改01「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」別紙6のP.12, 13(通し頁P.175, 176) NS2-添1-067(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)」P.250,251	
97	2022/4/14	NS2-添1-066改01(比)	比較表(VI-1-8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計)	P.10	溶融炉心の拡がりの面積を可能な限り減少させないことに対する設計思想を備考欄で説明すること	後日回答			
98	2022/4/14	NS2-添1-066改01	施設個別説明書(VI-1-8-1-別添2)	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.3.8.13	各部材を示す用語を定義した上で、基本厚さとコリウムシールドの厚さについて説明すること	後日回答			

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
99	2022/4/14	NS2-他-054改 02	回答整理表	島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理 表(原子炉格納施設)	P.5	No.53について、各部材を示す用語を定義した 上、厚さの測定方法を含めて基本厚さ等の寸法 及び製造公差について説明すること。	後日回答			
100	2022/4/14	NS2-添1-066改 01(比)	比較表(VI-1- 8-1-別添2)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-1-別添2 コ リウムシールドの設計)	P.14	「耐熱モルタル」と「モルタル」について、用語の 統一を検討すること。その他の用語についても、 用語の統一を検討すること	後日回答			
101	2022/4/14	NS2-補-011改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資 料(計算機プログラム(解析 コード)の概要)	P.45	重力タンパの構造図について、実際の設置状況 を考慮した向きに修正し説明すること	後日回答			
102	2022/4/14	NS2-添1-068改 01(比)	比較表(VI-1- 8-2)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-2 原子炉格 納施設の水素濃度低減性能 に関する説明書)	P.103	静的触媒式水素処理装置入口/出口温度計の 設置位置について、先行審査プラントとの相違を 説明すること	後日回答			
103	2022/4/14	NS2-添1-068改 01(比)	比較表(VI-1- 8-2)	先行審査プラントの記載との 比較表(VI-1-8-2 原子炉格 納施設の水素濃度低減性能 に関する説明書)	P.45	表2-2について、水素の発生量のうち有効性評 価結果の値が先行審査プラントと比較して小さく なっている理由を説明すること	後日回答			
104	2022/4/14	NS2-添1-068改 01	施設個別説明 書(VI-1-8-2)	VI-1-8-2 原子炉格納施設 の水素濃度低減性能に関する 説明書	P.46	図2-20で示している水素濃度の時間変化が、 格納容器ベントを期待していないことが分かるよ うに記載を検討すること。また水素濃度が 1.5vol%に到達するまでの経過時間を説明するこ と	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(原子炉格納施設)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
原子炉格納施設関連の過去の工認記載適正化箇所については、NS2-他-027改02で整理済みのため省略。						
1	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.2	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)2.2 原子炉建物等の損傷を防止するための水素濃度低減設備 3 (新)2.2 原子炉建物等の損傷を防止するための水素濃度低減設備 4	2022/2/16	
2	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	工認図書内の用語の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)排出経路における放射線量率を測定し、 (新)排出経路における線量当量率を測定し、	2022/2/16	
3	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	格納容器フィルタベント系の排出経路に設置される電動弁の電源設備に加え、ベント時に使用する計装設備に対する電源設備を追記し、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。 (新)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型直流電源設備から給電が可能な設計とする。	2022/2/16	
4	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.13	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)については代替電源設備による給電並びに格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)の起動した時点で使用可能となるが、有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」においてはこの時点では原子炉格納容器内の酸素濃度は5vol%に到達しない。 (新)格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)については代替電源設備による給電後に、格納容器水素濃度(SA)及び格納容器酸素濃度(SA)を起動した時点で使用可能となるが、有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」におけるこの時点では原子炉格納容器内の酸素濃度は5vol%に到達しない。	2022/2/16	
5	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.13	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」においては原子炉補機代替冷却系が使用可能となる時点では (新)有効性評価シナリオ「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」における原子炉補機代替冷却系が使用可能となる時点では	2022/2/16	
6	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.13,14	格納容器水素濃度(B系)及び格納容器酸素濃度(B系)の計測範囲の変更に伴い、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器水素濃度(B系)の計測範囲0~5vol%/0~100vol%において、計器仕様は最大±0.16vol%/±3.2vol%(ウェット)、±0.13vol%/±2.5vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度(B系)の計測範囲0~5vol%/0~25vol%において、計器仕様は最大±0.16vol%/±0.78vol%(ウェット)、±0.13vol%/±0.63vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度の最大計測誤差は、ドライ条件において±0.13vol% (新)格納容器水素濃度(B系)の計測範囲0~20vol%/0~100vol%において、計器仕様は最大±0.64vol%/±3.2vol%(ウェット)、±0.5vol%/±2.5vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度(B系)の計測範囲0~10vol%/0~25vol%において、計器仕様は最大±0.32vol%/±0.80vol%(ウェット)、±0.25vol%/±0.63vol%(ドライ)の誤差・・・格納容器酸素濃度(B系)の最大計測誤差は、ドライ条件において±0.25vol%	2022/2/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
7	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.16	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)図4-3に熱電対の取り付け位置を示す。 (新)図4-3に熱電対の取付位置を示す。	2022/2/16	
8	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.18	格納容器フィルタベント系の排出経路に設置される電動弁の電源設備に加え、ベント時に使用する計装設備に対する電源設備を追記し、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。 (新)重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型直流電源設備から給電が可能な設計とする。	2022/2/16	
9	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.20	図4-2について、工認図書内の用語の統一を図るため、安全パラメータ表示システムに関する注記を適正化しました。(下線部削除) なお、本変更は記載方針によるものであり、設備仕様に変更はありません。 (旧)安全パラメータ表示システム(SPDS) <u>(SPDS伝送サーバ)</u> (新)安全パラメータ表示システム(SPDS)	2022/2/16	
10	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.41	原子炉ウェル内の水素漏えい対策を実施することから、記載を適正化しました。(下線部追記) <修正後> <u>ドライウェル主フランジからの水素漏えいは、ドライウェル主フランジがある原子炉ウェル内の下層階へ通じる原子炉ウェル排気ライン吸込口の閉止及び原子炉ウェル水張りラインのドレン弁の閉運用への変更を実施することから、原子炉建物原子炉棟4階(ドライウェル主フランジ)のみから漏えいする条件又は複数フロアから漏えいする条件を使用する。複数フロアからの漏えいを想定する場合、各フロアの漏えい量は、全漏えい量を各漏えい箇所の周長割合で分配して計算する。</u>	2022/2/16	
11	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.50,51	天井取付であることから、基準床を考慮し、図2-24を中2Fベースの配置図に変更しました。また、図2-23、2-25、2-26のベースとなる配置図を最新化しました。	2022/2/16	
12	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.52	工認図書内の記載の統一を図るため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)触媒式水素検出器、熱伝導式水素検出器にて水素濃度を検出し、演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後、原子炉建物水素濃度を中央制御室及び緊急時対策所に指示し、記録する。 (新)触媒式水素検出器又は熱伝導式水素検出器からの電流信号を演算装置を経由又は直接中央制御室の指示部にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、原子炉建物水素濃度を中央制御室に指示する。また、安全パラメータ表示システム(SPDS)にて記録及び保存する。	2022/2/16	
13	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.52	図2-27及び図2-28について、工認図書内の用語の統一を図るため、安全パラメータ表示システムに関する注記を適正化しました。(下線部削除) なお、本変更は記載方針によるものであり、設備仕様に変更はありません。 (旧)安全パラメータ表示システム(SPDS) <u>(SPDS伝送サーバ)</u> (新)安全パラメータ表示システム(SPDS)	2022/2/16	
14	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.56	表1-1について、参照しない試験条件を記載していたため、適正化しました。(下線部削除) (旧)水素濃度 3~5vol%、9~10vol% (新)水素濃度 3~5vol%	2022/2/16	
15	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.59,60,61	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図2-2、図2-3、図2-4、図2-5 (新)図2-3、図2-4、図2-5、図2-6	2022/2/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
16	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.60	図2-5について、1/1スケールに標準化(PARの水素処理容量は開口面積に比例するため、1/2,1/4,1/8スケールをそれぞれ2倍,4倍,8倍)した結果を掲載しておりましたが、説明文との整合の観点から、標準化しない結果に変更しました。	2022/2/16	
17	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.63	表4-1について、誤記を修正しました。経緯として、圧力については、0.21MPaを単位換算した数値を記載しておりましたが、同引用文献内にbar単位の記載として、2barの記載があることを確認したため、2barに修正しました。また、温度については、詳細な試験結果が記載されている図書を参照した数値を記載しておりましたが、当該図書は引用文献として挙げていない一方で、引用文献として挙げている図書には詳細な記載がなく、2つの温度をまとめて~295K(=22°C)と記載していることを確認したため、22°Cに修正しました。 (旧)2.1bar, 17°C, 24°C (新)2bar, 22°C, 22°C	2022/2/16	
18	NS2-添1-068	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.76	図2-2について、工認図書内の用語の統一を図るため、安全パラメータ表示システムに関する注記を適正化しました。(下線部削除) なお、本変更は記載方針によるものであり、設備仕様に変更はありません。 (旧)安全パラメータ表示システム(SPDS) <u>(SPDS伝送サーバ)</u> (新)安全パラメータ表示システム(SPDS)	2022/2/16	
19	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	工認図書内の用語の統一を図るため、適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉棟空調換気系排気ダクト (新)原子炉棟空調換気系ダクト	2022/3/7	
20	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	解析上の水素ガス経路を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部追記) (旧)GOTHICコードを用いた水素濃度解析では、ドライウエル主フランジから漏えいする水素ガスは原子炉ウエル上部から原子炉建物原子炉棟4階に流出する (新)GOTHICコードを用いた水素濃度解析では、ドライウエル主フランジから漏えいする水素ガスは原子炉ウエル上部から原子炉ウエルシールドプラグ(図7-1参照)の隙間を通して原子炉建物原子炉棟4階に流出する	2022/3/7	
21	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11	対策内容をより明確化するため、記載を適正化しました。(下線部追記) (旧)原子炉ウエル排気ラインについては原子炉ウエル内側の吸込口を閉止(溶接構造)するとともに、原子炉ウエル外側から原子炉棟空調換気系ダクトまでのラインを撤去する。 (新)原子炉ウエル排気ラインについては原子炉ウエル内側の吸込口を閉止(溶接構造)するとともに、 <u>原子炉ウエル外側については、原子炉ウエル外側から原子炉棟空調換気系ダクトまでのラインを撤去し、開口部については閉止する。</u>	2022/3/7	
22	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.11,13	図7-1 原子炉ウエルシールドプラグの構造の追加に伴い、対策イメージはの図番号を「図7-2」に適正化しました。	2022/3/7	
23	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	工認図書内の用語の統一を図るため、適正化しました。(下線部参照) (旧)シールドプラグ (新)原子炉ウエルシールドプラグ	2022/3/7	
24	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	対象を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)定期的にドレン弁を「開」することにより、シートパスの監視・・・ (新)定期的にドレン弁を「開」することにより、燃料プール冷却ラインとの隔離弁からのシートパスの監視・・・	2022/3/7	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
25	NS2-補-011 改06	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.14	耐震補強の工事目的について、誤りがあったため、適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉ウェル水張りラインは、内部溢水による漏えいを防止するため、耐震性を確保することとしている。 (新)原子炉ウェル水張りラインは、原子炉ウェル代替注水系の設置に伴い、耐震性を確保することとしている。	2022/3/7	
26	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.3	マスキング範囲について、適正化しました。(目地材の仕様をマスキング範囲から除外)	2022/4/8	
27	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.8~10	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.055の水平展開として、図番号を適正化しました。	2022/4/8	
28	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.10	マスキング範囲について、適正化しました。(1.3mをマスキング範囲から除外)	2022/4/8	
29	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.14	表4-1の記載項目の順番に合わせ、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-2 製造公差と各種評価への影響(2/3) (新)表4-2 製造公差と各種評価への影響(3/3)	2022/4/8	
30	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.14	表4-1の記載項目の順番に合わせ、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表4-2 製造公差と各種評価への影響(3/3) (新)表4-2 製造公差と各種評価への影響(2/3)	2022/4/8	
31	NS2-添1-066改01	VI-1-8-1-別添2 コリウムシールドの設計	P.14	表4-1の記載項目の順番に合わせ、「スリット高さ」と「スリット幅」の記載位置を適正化しました。	2022/4/8	
32	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.3,4,12,13	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水素及び酸素 (新)水素ガス及び酸素ガス	2022/4/8	
33	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.4	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照)(2箇所) (旧)不活性ガスである窒素 (新)不活性ガスである窒素ガス	2022/4/8	
34	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.5	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)水素と酸素、水素及び酸素 (新)水素ガスと酸素ガス、水素ガス及び酸素ガス	2022/4/8	
35	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.8	図2-3について、弁の状態表示を系統待機時の系統構成に変更しました。	2022/4/8	
36	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.9	図2-4について、弁の状態表示を系統待機時の系統構成に変更しました。	2022/4/8	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
37	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.12	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)不活性ガス(窒素) (新)不活性ガス(窒素ガス)	2022/4/8	
38	NS2-添1-068改01	VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	P.42	図2-13から図2-15について、原子炉建物付属棟を含めた平面図であることから図のタイトルから原子炉棟を削除するとともに、図中に原子炉建物原子炉棟の範囲を明記しました。(下線部参照) (旧)図2-13 原子炉建物原子炉棟2階, 図2-14 原子炉建物原子炉棟1階, 図2-15 原子炉建物原子炉棟地下1階 (新)図2-13 原子炉建物2階, 図2-14 原子炉建物1階, 図2-15 原子炉建物地下1階	2022/4/8	
39	NS2-添1-068改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-2 原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書)	P.26	P.1に掲載している類型化表と不整合があったため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)⑦ 静的触媒式水素処理装置の型式が異なるため、1個当たりの水素処理容量が異なる (新)⑦ 静的触媒式水素処理装置型式が異なるため、1個当たりの水素処理容量が異なる	2022/4/8	
40	NS2-補-011改07	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.32	本文の修正に伴い、ページ番号を修正しました。	2022/4/8	
41	NS2-補-011改07	工事計画に係る説明資料(原子炉格納施設)	P.34	図1-3及び図1-4について、マスキング範囲から除外しました。	2022/4/8	
42	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.3	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉格納容器内を不活性化するため、原子炉格納容器内に窒素を供給する (新)原子炉格納容器内を不活性化するため、原子炉格納容器内に窒素ガスを供給する	2022/4/15	
43	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.18~24	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.8で図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(8/8)を追加したことにより、図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(1/7~7/7)までの図題を変更しました。(下線部参照) (旧)図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(1~7/7) (新)図4-3 原子炉格納容器バウンダリ及び隔離弁 全体概要図(1~7/8)	2022/4/15	
44	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.18,19,20	第一水源の変更に伴い、以下を反映し、記載を適正化しました。 ・図4-3(1/8): MV221-3の状態表示の変更 ・図4-3(2/8): MV221-36及びMV224-11の追加 ・図4-3(3/8): MV224-2の状態表示の変更	2022/4/15	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
45	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.19	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉再循環系(サンプリング系) (新)原子炉再循環系 (旧)残留熱除去系(低圧注水系) (新)残留熱除去系(低圧注水モード) (旧)残留熱除去系(原子炉停止時冷却系)(停止時冷却) (新)残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード) (旧)残留熱除去系(格納容器スプレイ系) (新)残留熱除去系(格納容器冷却モード) (旧)残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却系) (新)残留熱除去系(格納容器冷却モード) (旧)残留熱除去系(サブプレッション・プール冷却系) (新)残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)	2022/4/15	
46	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.21	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉建物換気空調系 (新)原子炉棟空調換気系	2022/4/15	
47	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.21	記載漏れであった「注記」を追記しました。	2022/4/15	
48	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.22	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)液体廃棄物処理系 (新)液体廃棄物処理系(ドレン移送系) (旧)エリア放射線モニタ系(ダスト放射線モニタ) (新)エリア放射線モニタ系	2022/4/15	
49	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.24	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉圧力容器計装 (新)原子炉圧力容器計装系 (旧)ジェットポンプ計装 (新)原子炉圧力容器計装系	2022/4/15	
50	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.33~42	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.29で図4-5を追加したことに伴い、図番号を適正化しました。	2022/4/15	
51	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.44	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器代替スプレイ系(常設)は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・ (新)格納容器代替スプレイ系(常設)は、代替所内電気設備を経由した常設代替交流電源設備からの給電が可能な設計とする。また、系統構成に使用する電動弁は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・	2022/4/15	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
52	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.44	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)格納容器代替スプレイ系(可搬型)は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・ (新)格納容器代替スプレイ系(可搬型)のうち系統構成に使用する電動弁は、非常用ディーゼル発電設備に加えて、・・・	2022/4/15	
53	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	基本設計方針66条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ペDESTAL代替注水系(常設)は、代替所内電気設備を経由した・・・ (新)ペDESTAL代替注水系(常設)は、代替所内電気設備を経由した常設代替交流電源設備からの給電が可能な設計とする。また、系統構成に使用する電動弁は、代替所内電気設備を経由した・・・	2022/4/15	
54	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.46	基本設計方針66条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ペDESTAL代替注水系(可搬型)は、代替所内電気設備を経由した・・・ (新)ペDESTAL代替注水系(可搬型)のうち系統構成に使用する電動弁は、代替所内電気設備を経由した・・・	2022/4/15	
55	NS2-添1-064改01	VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書	P.67	表6-3の注記*3について、本頁の表内に記載がないため、削除しました。	2022/4/15	
56	NS2-添1-064改01(比)	先行プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.1,14,15	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、相違No.⑩の相違理由の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機の格納容器代替スプレイは、ドライウェル側へのスプレイの方が効果的なため、ドライウェル側のみスプレイを実施する (新)島根2号機の格納容器代替スプレイは、炉内で発生する熱がサブプレッションチェンバ側に移行する場合においてもスプレイ先の違いによる格納容器冷却の効果に大きな差がないことから、格納容器ベント遅延の観点より、ドライウェル側のみスプレイを実施する	2022/4/15	
57	NS2-添1-064改01(比)	先行プラントの記載との比較表(VI-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書)	P.74,75	基本設計方針64条のコメント反映の水平展開として、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・設備の相違 (新)・記載方針の相違	2022/4/15	
58	NS2-補-011改09	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.25	図2-10について、誤記(補助線のずれ)を修正しました。	2022/4/15	
59	NS2-補-011改09	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.28	ダウンカマ内の水の噴流速度の値について、誤記を修正しました。	2022/4/15	
60	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.2~4	本文の修正に伴い、ページ番号を修正しました。	2022/4/25	
61	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.6	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)原子炉格納容器本体の一般構造部(設計・建設規格PVE-3010で規定されている部位)の評価として、 (新)原子炉格納容器本体の一般構造部(「発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版を含む。))」(JSME S NC1-2005/2007)以下「設計・建設規格」という。)PVE-3010で規定されている部位)の評価として、	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
62	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.13	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・最大の値を示す部位を応力評価点とする。 (新)・・・最大の値を示す部位とする。	2022/4/25	
63	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.14	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・許容値を超えたため・・・ (新)・・・許容応力を超えたため・・・	2022/4/25	
64	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.14	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)荷重の組み合わせ (新)荷重の組合せ	2022/4/25	
65	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.18	「図3-2 ドライウェル主フランジの解析モデル」について、モデル化している箇所が分かるよう図示しました。	2022/4/25	
66	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.25	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.38の水平展開として図番号を適正化しました。	2022/4/25	
67	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.29	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)所員用エアロックの扉のシール材には、・・・ (新)所員用エアロックの扉のシール材は、・・・	2022/4/25	
68	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.49	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図8-2に評価部位の概形を示す。 (新)図8-3に評価部位の概形を示す。	2022/4/25	
69	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.49	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図8-2 評価部位概形図(平板類(X-7A,B)) (新)図8-3 評価部位概形図(平板類(X-7A,B))	2022/4/25	
70	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.51	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)貫通部X-7A,Bのフランジ主要寸法を図8-3,・・・ (新)貫通部X-7A,Bのフランジ主要寸法を図8-4,・・・	2022/4/25	
71	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.51	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図8-3 フランジ主要寸法(貫通部X-7A,B) (新)図8-4 フランジ主要寸法(貫通部X-7A,B)	2022/4/25	
72	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.52	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)応力 (新)発生応力	2022/4/25	
73	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.53	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)貫通部X-7A,Bのフランジ部について、図8-4に示すように・・・ (新)貫通部X-7A,Bのフランジ部について、図8-5に示すように・・・	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
74	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.53	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図8-4 評価モデル (新)図8-5 評価モデル	2022/4/25	
75	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.55	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図8-5に評価部位の概形を示す。 (新)図8-6に評価部位の概形を示す。	2022/4/25	
76	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.55	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)図8-5 評価部位概形図(セーフエンド) (新)図8-6 評価部位概形図(セーフエンド)	2022/4/25	
77	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.57	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)貫通配管 (新)接続配管	2022/4/25	
78	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.57	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ボルト締め平板 ボルト フランジ (新)平板類(ボルト締め平板_ボルト_フランジ)	2022/4/25	
79	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.57,58	No.3及びNo.4に「結果」の欄を追記し、○を追記しました。	2022/4/25	
80	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.63	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・高圧用3,640時間,・・・ (新)・・・高圧用3640時間,・・・	2022/4/25	
81	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.71	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)2.1 改良EPDM 製シール材の圧縮永久ひずみ試験について (新)2.1 改良EPDM 製シール材の圧縮永久ひずみ試験	2022/4/25	
82	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.76	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・図1-1に従ったフローで弁を抽出した。 (新)・・・図1-1の評価フローに従い弁を抽出した。	2022/4/25	
83	NS2-添1-065改01	VI-1-8-1-別添1 重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について	P.77	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・定期的な取替を・・・ (新)・・・定期的な取替を・・・	2022/4/25	
84	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.22	注記の付番の順番を見直しました。	2022/4/25	
85	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.30	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)・・・重大事故当時の閉じ込め機能維持・・・ (新)・・・重大事故等時の閉じ込め機能維持・・・	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
86	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.44	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・耐性共研の値を用いていたが、JSME設計・建設規格の物性値の方が、以下に示すとおり解析評価に用いる物性値としては、JSME設計・建設規格の方が、より開口量が大きくなると判断したため、JSME設計・建設規格の物性値を用いて再評価することとした。 (新)・・・耐性共研の値を用いていたが、「 <u>発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版を含む。))</u> 」(JSME S NC1-2005/2007)「以下「設計・建設規格」という。)の物性値の方が、以下に示すとおり解析評価に用いる物性値としては、設計・建設規格の方が、より開口量が大きくなると判断したため、設計・建設規格の物性値を用いて再評価することとした。	2022/4/25	
87	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.44	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)なお、JSME設計・建設規格の物性値を・・・ (新)なお、設計・建設規格の物性値を・・・	2022/4/25	
88	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.44	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)表1 JSME設計・建設規格 (新)表1 設計・建設規格	2022/4/25	
89	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.48	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・(約1,000mg/m ³)・・・ (新)・・・(約1000mg/m ³)・・・	2022/4/25	
90	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.79	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)サブプレッション・チェンバ (新)サブプレッションチェンバ	2022/4/25	
91	NS2-他-035改01	先行審査プラントの記載との比較表(重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性について)	P.4	補足説明資料を追加しました。 (旧)なし (新)別紙23 原子炉格納容器の適用規格について 別紙24 配管貫通部の構造健全性評価における代表性について 別紙25 アレニウス則による評価について 別紙26 X-7A,Bのボルト及びフランジの強度評価結果の算出過程について 別紙27 機器搬入口の径方向変位差について	2022/4/25	
92	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.6	図1-1について、注記の記載位置を修正しました。	2022/4/25	
93	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.11	表2-2について、設定根拠を明確化しました。	2022/4/25	
94	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.12	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)発電用原子力設備規格(設計・建設規格 JSME S NC1-2005(2007年追補版含む。))(日本機械学会2007年9月) (新)発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版を含む。))(JSME S NC1-2005/2007)	2022/4/25	
95	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.14	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2-1について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
96	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.16	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2-2について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	
97	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.17	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…「発電用原子力設備規格(設計・建設規格 JSME S NC1 - 2005(2007年追補版含む。)) (日本機械学会2007年9月)」クラス2容器の規定に… (新)…「発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2005年版(2007年追補版を含む。))(JSME S NC1-2005/2007)」のクラス2容器の規定に…	2022/4/25	
98	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.18,19	図2-3、図2-4について、誤記を訂正しました。 (旧)呼び径 (新)材質	2022/4/25	
99	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.19	用語の統一のため、記載を適正化しました。また、誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)ベンチュリノズルは、分配管に対して直行する向きに設置し、…。また、ベントガスは、スクラビング水中に斜め下方向に排出されたのち、減速し分配管の間を浮き上がっていく流れとなるため、… (新)ベンチュリノズルは、分岐管に対して直交する向きに設置し、…。また、ベントガスは、スクラビング水中に斜め下方向に排出されたのち、減速し分岐管の間を浮き上がっていく流れとなるため、…	2022/4/25	
100	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.24	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)第1ベントフィルタ銀ゼオライトフィルタ容器には、…。銀ゼオライトは、第1ベントフィルタ銀ゼオライトフィルタ容器内の銀ゼオライトフィルタ内に充填し、…。 (新)第1ベントフィルタ銀ゼオライト容器には、…。銀ゼオライトは、第1ベントフィルタ銀ゼオライト容器内の銀ゼオライトフィルタ内に充填し、…。	2022/4/25	
101	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.27	表2-7について、マスキング範囲を適正化しました。「約」「wt%以上」をマスキング範囲から除外)	2022/4/25	
102	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.45	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2-36について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	
103	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.50	表2-11に記載のドレン移送ポンプについて、排水設備と共用であるため設備仕様の記載を省略していましたが、仕様の明確化のため設備仕様を追記しました。	2022/4/25	
104	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.51	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2-39について、弁の状態表示を補給設備使用時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
105	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.53	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2-40について、系統構成を「系統待機時の窒素ガス置換時」から「系統内の窒素ガスパーージ時」に変更し、これに関する注記を追加しました。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
106	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.56	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2-43について、弁の状態表示を排水設備使用時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
107	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.61	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)⑤ベンチュリノズルの出口に設置した板によってベントガス及び水滴の方向の方向が変わり、… (新)⑤ベンチュリノズルの出口に設置した板によってベントガス及び水滴の方向が変わり、…	2022/4/25	
108	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.69	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.81の水平展開として、表3-3について「エアロゾルの除去効率に影響を与える主要な因子」とそれ以外が分かるように注記により識別しました。	2022/4/25	
109	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.69	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…フィルタ装置における有機よう素の除去性能について確認している。 (新)…フィルタ装置における無機よう素の除去性能について確認している。	2022/4/25	
110	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.70	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.81の水平展開として、表3-4について「無機よう素の除去効率に影響を与える主要な因子」とそれ以外が分かるように注記により識別しました。	2022/4/25	
111	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.80	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)DF _{JAVA PLUS} : JAVA PLUS試験において測定されたDF (新)DF _{JAVA PLUS} : JAVA PLUS試験において測定されたDF	2022/4/25	
112	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.86	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)保全方式の選定に当たっては、「原子力発電所の保守管理規定(JEAC 4209)MC-11-1-1 保全方式の選定」に基づき、適切な方針を選定することとした。 (新)保全方式の選定に当たっては、「原子力発電所の保守管理規程(JEAC 4209)MC-11-1-1 保全方式の選定」に基づき、適切な方針を選定することとした。	2022/4/25	
113	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.91	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図4-1について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	
114	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.92	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)漏えい試験では、系統内が不活性状態で維持されていることの確認するため… (新)漏えい試験では、系統内が不活性状態で維持されていることを確認するため…	2022/4/25	
115	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.93	表4-4について、表中の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)試験目的方法 (新)試験目的方法	2022/4/25	
116	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.94	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図4-2について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
117	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.101	記載の明確化のため、適正化しました。(下線部参照) (旧)…ベント実施前から、原子炉格納容器内の酸素濃度をウェット条件及びドライ条件で監視し、ウェット条件の酸素濃度が1.5vol%に到達したこと及びドライ条件の酸素濃度4.4vol%に到達したことをベント実施の判断基準に設定していること、…及び格納容器フィルタベント系の系統内は不活性化されているため… (新)…ベント実施前から、原子炉格納容器内の酸素濃度をウェット条件及びドライ条件で監視し、ウェット条件の酸素濃度が1.5vol%に到達したこと及びドライ条件の酸素濃度4.4vol%に到達したことをベント実施の判断基準に設定していること、…、並びに格納容器フィルタベント系の系統内は不活性化されているため…	2022/4/25	
118	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.104	図1-3について、注記の記載位置を修正しました。	2022/4/25	
119	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.107	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図1-7について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	
120	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.109	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…原子炉格納容器内における水素発生量と窒素供給量の割合から求められ、以下のとおり… (新)…原子炉格納容器内における水素発生量と窒素供給量の割合から求められ、以下のとおり…	2022/4/25	
121	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.113	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図1-10について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	
122	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.114	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図1-11について、弁の状態表示をサブレーションチェンバへの窒素ガス供給時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
123	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.115	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図1-12について、弁の状態表示を系統内の窒素ガスパーージ時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
124	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.124	表1-1について、耐震条件の設定根拠を明確化しました。	2022/4/25	
125	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.136	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ここで (新)ここで、	2022/4/25	
126	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.142	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.83の水平展開として、図1-1に下限水位を追記しました。また、上限水位について、上限水位であることが分かる記載に見直しました。	2022/4/25	
127	NS2-添1-067改01	VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計	P.150	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)よって、格納容器フィルタベント系の待機中に水酸化ナトリウムが析出することはない。 (新)よって、格納容器フィルタベント系の系統待機中に水酸化ナトリウムが析出することはない。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
128	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.1	相違No.⑧について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機の第1ベントフィルタ出口水素濃度は可搬型設備(車両)で構成 (新)島根2号機の第1ベントフィルタ出口水素濃度は、可搬型設備(車両)で構成	2022/4/25	
129	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.1	相違No.⑩について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機はベント時の圧力によらず、格納容器圧力が1Pd時において、原子炉定格熱出力の1%が排出できるよう流量オリフィスを設定 (新)島根2号機は、ベント時の圧力によらず、格納容器圧力が1Pd時において、原子炉定格熱出力の1%が排出できるよう流量オリフィスを設定	2022/4/25	
130	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.9	NS2-添1-067「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」の記載にあわせて比較表の記載を修正しました。(下線部参照) (旧)…原子炉格納容器内雰囲気ガスを窒素ガス処理系等を經由して… (新)…原子炉格納容器内雰囲気ガスを窒素ガス制御系等を經由して…	2022/4/25	
131	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.27	先行審査プラントとの相違理由について「①の相違(スクラバ容器と銀ゼオライト容器を設置)」としていましたが、当該部の相違理由は、スクラバ容器を複数設置していることであるため、相違理由を修正しました。(下線部参照) (旧)①の相違 (新)⑤の相違	2022/4/25	
132	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.52	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機の第1ベントフィルタ出口水素濃度は可搬型設備(車両)で構成(以下、⑧の相違) (新)島根2号機の第1ベントフィルタ出口水素濃度は、可搬型設備(車両)で構成(以下、⑧の相違)	2022/4/25	
133	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.52	誤記を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、島根2号機は、ベント停止前に窒素ガス供給を開始し、ベント停止後も供給を継続する(以下、⑨の相違) (新)島根2号機は、ベント停止前に窒素ガス供給を開始し、ベント停止後も供給を継続する(以下、⑨の相違)	2022/4/25	
134	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.64	先行審査プラントとの相違理由について「⑩の相違(可搬型直流電源設備に関する相違)」としていましたが、当該部の相違理由は、可搬型窒素供給装置による窒素ガス供給タイミングであるため、相違理由を修正しました。(下線部参照) (旧)⑩の相違 (新)⑨の相違	2022/4/25	
135	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.74	NS2-添1-067「VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計」の記載にあわせて比較表の記載を修正しました。(下線部参照)(下線部参照) (旧)図3-6 スクラバにおける除去原理の模式図 (新)図3-6 <u>ベンチュリ</u> スクラバにおける除去原理の模式図	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
136	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.153	先行審査プラントとの相違理由について「⑩の相違(可搬型直流電源設備に関する相違)」としていましたが、当該部の相違理由は、可搬式窒素供給装置による窒素ガス供給タイミングであるため、相違理由を修正しました。(下線部参照) (旧)⑩の相違に伴い島根2号機は、… (新)⑨の相違に伴い島根2号機は、…	2022/4/25	
137	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.161	先行審査プラントとの相違理由について「⑩の相違(可搬型直流電源設備に関する相違)」としていましたが、当該部の相違理由は、可搬式窒素供給装置による窒素ガス供給タイミングであるため、相違理由を修正しました。(下線部参照) (旧)⑩の相違に伴い島根2号機は、… (新)⑨の相違に伴い島根2号機は、…	2022/4/25	
138	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.166	先行審査プラントとの相違理由について「⑩の相違(可搬型直流電源設備に関する相違)」としていましたが、当該部の相違理由は、可搬式窒素供給装置による窒素ガス供給タイミングであるため、相違理由を修正しました。(下線部参照) (旧)⑩の相違 (新)⑨の相違	2022/4/25	
139	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.180	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機はベント時の圧力によらず、格納容器圧力が1Pd 時において、原子炉定格熱出力の1%が排出できるよう流量オリフィスを設定(以下、⑩の相違) (新)島根2号機は、ベント時の圧力によらず、格納容器圧力が1Pd 時において、原子炉定格熱出力の1%が排出できるよう流量オリフィスを設定(以下、⑩の相違)	2022/4/25	
140	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.188	ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を考慮していることに対する相違理由について、P.187で類型化しているため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機は、ベントガスの凝縮に寄与する構造物として入口配管を考慮して評価している (新)⑩の相違	2022/4/25	
141	NS2-添1-067改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-8-1-別添3 格納容器フィルタベント系の設計)	P.202,212,213	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)島根2号機は凝縮水による希釈を考慮し、スクラビング水のpHを評価している (新)島根2号機は、凝縮水による希釈を考慮し、スクラビング水のpHを評価している	2022/4/25	
142	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.104	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図11について、弁の状態表示を系統待機状態の表示に修正しました。	2022/4/25	
143	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.105	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)溶接部は、製作時に「発電用原子力溶接規格(溶接規格 JSME S NB1-2007)(日本機械学会2007年9月)」(以下「溶接規格」という。)に基づき非破壊検査を実施し、欠陥がないことを確認する。 (新)溶接部は、製作時に「発電用原子力溶接規格 溶接規格(2007年版)(JSME S NB1-2007)」(以下「溶接規格」という。)に基づき非破壊検査を実施し、欠陥がないことを確認する。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
144	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.108	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図3について、弁の状態表示を排水設備(ドレン移送ライン)使用時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
145	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.111	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図5について、弁の状態表示を排水設備(漏えい水排水ライン)使用時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
146	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.167	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)表3より、最小流量であっても約0.6%の沈着割合となることが評価された。 (新)表1より、最小流量であっても約0.6%の沈着割合となることが評価された。	2022/4/25	
147	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.168	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)格納容器フィルタベント系のベントガスを原子炉格納容器から大気開放端まで導く主ラインの概略を図11に示す。 (新)格納容器フィルタベント系のベントガスを原子炉格納容器から第1ベントフィルタスクラバ容器まで導く主ラインの概略を図11に示す。	2022/4/25	
148	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.178	表2について、表中記載の第3弁のフェイルクローズ(FC)機能欄が空欄となっていたため、「無(フェイルアズイズ)」を追記しました。	2022/4/25	
149	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.180	図1について、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
150	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.182	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2について、弁の状態表示を通常運転中における原子炉格納容器の圧力降下操作時の状態に修正しました。	2022/4/25	
151	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.193	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図2について、弁の状態表示をベント実施時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
152	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.198	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図3について、弁の状態表示をサブレーションチェンバへの窒素ガス供給時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
153	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.199	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図4について、弁の状態表示を格納容器フィルタベント系の窒素ガスパージ時の状態に修正しました。また、系統構成に関する注記を追記しました。	2022/4/25	
154	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.201	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図5について、弁の状態表示を系統待機時の窒素ガス置換の状態に修正しました。	2022/4/25	
155	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.208	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.93の水平展開として、図1について、弁の状態表示を系統待機時の状態に修正しました。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
156	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.235,237, 244,245,301	重力加速度の記号を「g」に統一しました。	2022/4/25	
157	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.235	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…ベントガス中のエアロゾルにより閉塞しないようにする必要があるが、… (新)…ベントガス中のエアロゾルにより閉塞しないようにする必要があるが、…	2022/4/25	
158	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.247	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…事象経過と共に蒸気流束は減少していくが… (新)…事象経過とともに蒸気流束は減少していくが…	2022/4/25	
159	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.248	図2と本文の関係を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)a. スクラビング水の放出によるクリアリング荷重 (新)a. スクラビング水の放出によるクリアリング荷重(図2)	2022/4/25	
160	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.251	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)注記*:評価は、設計・建設規格のPCV-3122及びPVC-3226に従い実施した。 (新)注記*:評価は、設計・建設規格のPVC-3122及びPVC-3226に従い実施した。	2022/4/25	
161	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.261	内部配管について、設計条件における一次応力制限により評価している理由を追記しました。(下線部参照) (旧)(1) 第1ベントフィルタスクラバ容器の内部配管については設計条件、… (新)(1) 第1ベントフィルタスクラバ容器の内部配管については設計条件、… 注記*:第1ベントフィルタスクラバ容器内部配管は、ベント実施時(蒸気放出過程)において一時的に内部配管の温度上昇による熱応力(二次応力)が発生するが、発生回数(ベント回数)は非常に少なく、熱応力による疲労破壊に対する影響は軽微であるため、設計条件における一次応力制限により評価	2022/4/25	
162	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.265	添付2と本文の関係を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)また、内部配管の評価に用いた解析モデルを図4及び図5に示す。 (新)また、内部配管の評価に用いた解析モデルを図4及び図5に示す(添付2参照)。	2022/4/25	
163	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.293	モデル化範囲とモデル図の関係を明確化するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)分岐管の強度評価モデルには、図2に示すビームモデル(全体)と図4のシェルモデル(分岐管部)の2種類のモデルを用いる。 (新)分岐管の強度評価モデルには、図1に示すモデル化範囲についてモデル化した図2及び図3に示すビームモデル(全体)並びに図4に示すシェルモデル(分岐管部)の2種類のモデルを用いる。	2022/4/25	
164	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.293,294	記載の明確化のため、図1及び図2に閉止フランジの矢視を追加しました。	2022/4/25	
165	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.295	記載の明確化のため、図4にベンチュリノズル取合いフランジ付根部の矢視を追加しました。	2022/4/25	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
166	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.312	指摘事項に対する回答整理表(原子炉格納施設)No.80の水平展開として、銀ゼオライトフィルタの温度上昇量について、最高使用温度に対する評価を追記しました。	2022/4/25	
167	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.335	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)図7及び図8に各ベンチュリノズルのSEM写真を示す。 (新)図7に各ベンチュリノズルのSEM写真を示す。	2022/4/25	
168	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.335	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…図7及び図8に示すカバープレート等にその痕跡が残るものと考えられる。 (新)…図7に示すカバープレート等にその痕跡が残るものと考えられる。	2022/4/25	
169	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.338	誤記を訂正しました。(下線部参照) (旧)…液滴衝撃エロージョンの発生しないものと考えられる。 (新)…液滴衝撃エロージョンは発生しないものと考えられる。	2022/4/25	
170	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.359	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ベンチュリノズルは、分配管に対して直行する向きに設置されており、… (新)ベンチュリノズルは、分岐管に対して直行する向きに設置されており、…	2022/4/25	
171	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.382	用語の統一のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)注記:各ラインの番号は「別紙I 可燃性ガスの爆発防止対策について」の表1-1及び図1-3に対応している。 (新)注:各ラインの番号は「別紙I 可燃性ガスの爆発防止対策について」の表1-1及び図1-3に対応している。	2022/4/25	
172	NS2-補-011改10	工事計画に係る補足説明資料(原子炉格納施設)	P.383	図1について、注記の記載位置を修正しました。	2022/4/25	
173	NS2-他-062改01	先行審査プラントの記載との比較表(格納容器フィルタベント系の設計)	P.1~6	設置許可審査時からの変更点が見えるよう資料構成を見直しました。また、備考欄へ変更点の概要を記載しました。	2022/4/25	
174	NS2-他-063改01	先行審査プラントの記載との比較表(ベント実施に伴う作業等の作業員の被ばく評価について)	P.1~3	設置許可審査時からの変更点が見えるよう資料構成を見直しました。また、備考欄へ変更点の概要を記載しました。	2022/4/25	